

vol-⑥ お猪口一杯

夏目家では世話になって
一つ不満なことがある

何で晩飯についてくる
酒がお猪口一杯なのか

コレ

お猪口一杯
なんて
一飲みじゃ
ないか!!

飲ませないなら
飲ませるなら
酒を堪能出来るくらい
飲ませてくれれば
いいものを…
これじゃ生殺しじゃ
ないか!!

なあ夏目
お猪口一杯の
酒じゃ…

十分酔える奴
いたー!!

なんだい?
はあ

下戸なので
もうホロ酔い

主人
量か!!

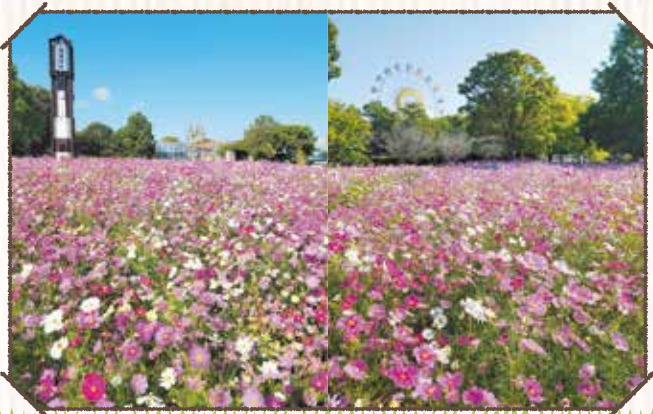
漱石はお酒は嫌いじゃないが弱いタイプのようで、お猪口一杯を小鳥が水を飲むようにちびちびやっていたそうです。文豪といえば酒を飲んで暴れるイメージをお持ちの方方もいるかもしれませんが、実は漱石も森鷗外も芥川龍之介も「下戸の甘党」だったりします。

香日ゆら著 「先生と僕 ～夏目漱石を困む人々～」

水辺の動植物園

動植物園だより vol.49

「コスモス」



涼しさを感じる風に揺れるコスモスを見ていると、毎年なのですが「秋だなあ～」と感じます。みなさんはいかがですか。

園内の花畑では、7月下旬に種をまいたコスモスが今年も見頃をむかえています。花畑に咲き誇る15万本のコスモスが風に吹かれる景色は絶景ですよ。この風景を毎年楽しみにされている方、まだ見たことがない方、みなさんのご来園お待ちしております。

コスモスはメキシコ原産のキク科コスモス属の植物で、花の形が桜の花に似ていることから「秋桜」ともよばれ、秋の花を代表する一つにもなっています。ちなみに、Cosmosはギリシャ語で「飾り」を意味しています。

また、10月7～9日の3日間は毎年恒例の「秋桜まつり」を開催します。植物の展示販売や遊び体験など植物ゾーンを中心にいろいろな催しをおこないます。

秋の動植物園でさわやかな風を感じながらゆっくりとした一日を過ごしてみてはいかがでしょうか。

施設植物班 竹本 美保

熊本城かわら版

令和5年度熊本城復旧シンポジウム 平成・令和の天下普請!! 飯田丸五階櫓「奇跡の一本石垣」からの復活劇

飯田丸五階櫓を支えた「奇跡の一本石垣」。この石垣が令和5年度に復旧完了を迎えます。復旧過程の調査で明らかになった事実について、他の城郭と比較しながら分かりやすくお話しします。

期日 11月18日(土)
時間 午前10時～午後5時(午前9時半開場・受付開始)
場所 国際交流会館ホール(6階で受け付け)
内容 講演①「仙台城跡の石垣復旧と災害」
講演②「浜松城跡、二侯城跡及び鳥羽山城跡と石垣」
講演③「特別史跡彦根城跡と石垣修理」
講演④「沖縄県のグスクと発掘調査事例」
講演⑤「国史跡福岡城跡と石垣修理」
報告「飯田丸五階櫓下の解体発掘調査の成果」
シンポジウム 司会 下高 大輔

定員 200人程度(先着順)
申込 10月5日(木)～11月15日(水)までに氏名、人数、電話番号を
電話 ☎096-334-1500 またはホームページ(higomaru-call.jp)でひごまるコールへ (熊本城調査研究センター ☎096-355-2327)

無料



申し込みはこちら▼



くま博2023開催

～くまなく、くまもと。もれなく、くま博。～

10月7日(土)～11月5日(日)

くまモンが総合プロデューサーとして熊本県内各地の魅力を発信するイベント「くま博2023」を開催。期間中は“誰が来ても、誰と来ても楽しめる!”をテーマに熊本のにぎわいを創出。

今年のくま博はアミュひろば、花畑広場だけでなく、熊本城長堀での灯りイベントも開催。週末は食のイベント、カルチャー、アウトドア、スポーツまで、多彩なラインアップ。また、県内地域の魅力に触れ合うブースも登場!

イベント会場



熊本駅前(アミュひろば)



花畑広場



熊本城 長堀(夜間イベント)

(観光政策課 ☎096-328-2393)

